



# We love 海青

2026年3月2日

学校便り No.23

校長 森 慎也

唐津市鎮西町横竹838番地9

学校教育目標 **夢や目標をもち、海青中を誇りに思う生徒の育成**

～笑顔と優しさあふれる学校に～

## ■ 海青中の先生達の夢 ～三浦 早紀先生編～ Vol. 5

## ～古川 春奈先生編～ Vol. 6

第5回目は、12月17日（水）に行っていましたが、養護教諭の**三浦 早紀**先生に、そして第6回目は2月18日（水）に英語科の**古川春奈**先生に話をしてもらいました。5回目の三浦先生の内容は、紙面の都合上、掲載が遅れました。

### 三浦先生の話の概要

- ・スポーツが大好きだったため、体育の先生に憧れた。
- ・剣道に出会い、高校時代は「〇〇さんに勝ちたい！」という目標のもと、努力した。
- ・高校時代、体が動かなくて、登校できなくなり、親、先生、仲間が支えてくれた。
- ・その恩返しとして、**一生懸命に頑張っている人を支えたい**という思いから養護教諭の道を選んだ。
- ・これまでいろいろなことに頑張れたのは目標があったから。
- ・**目の前にあることを全力でひたむきに向き合い努力**してほしい。



### 古川先生の話の概要

- ・中学、高校、大学とそれぞれの学校において、素晴らしい先生方と出会えた。
- ・中学までは英語が嫌いであったが、ある先生との出会いがきっかけとなり英語が好きになり、英語が嫌いな人を好きにさせたいという思いから、英語の教師を目指した。
- ・大学で英語力を伸ばしたものの、自分に自信がもてず、「このまま先生になっていいのか」と疑問に思い、大学卒業後は3年間家庭教師をした。
- ・ある時、初対面の人から、「あなたはまだ若いだから、もっと頑張りなさい」と言われ、その言葉に背中を押されて、改めて教師を目指した。
- ・**人との出会いがきっかけとなることもあるので、出会いを大切に**してほしい。
- ・何より、**素直さが一番大切**である。



## ■ 唐津地区中体連会報 卓球競技 主将 U.A さん

毎年、唐津地区中体連から会報が出されますが、会報には、各競技の中体連の結果や競技の代表者が作文を書き、それが掲載されます。卓球競技を代表して、本校のU.Aさんが中体連を終えた思いなどについて書いてくれましたので紹介します。

### 「支え」

唐津市立海青中学校 U.A

私は卓球部のキャプテンとして、チーム全体をまとめて支えていく立場となり、多くのことを学びました。先輩方が引退して自分たちのチームをつくっていく中で、分からないことばかりで不安になることもありました。実際にチームと関わる中で、失敗することもたくさんありましたが、最後まで考え続けることで、挑戦すること、努力することの大切さを学び、継続することの価値に気づくことができました。

部活動が続ける中で、多くの方の支えを感じました。いつも暖かく見守り、笑顔で応援や送迎をしてくださった保護者の方々、いつも支えてくださった監督、顧問の先生たちを九州大会に連れていき、感謝の気持ちを伝えることを目標に練習を重ねていきました。しかし、県新人戦と全九州予選の大会では、九州大会出場をかけた団体戦で、私たちはあと一步のところで敗れてしまいました。悔しい結果に、「もっとできたのではないか。」という思いだけが胸に残りました。

そこで、試合中の応援態度や、どうやったらまわりの人たちから応援され勝てるチームになれるのかなどをチームの皆で考え直し、日頃から気持ちを込めた挨拶をすることや互いを支える声掛けを心掛けて生活するようになりました。練習では、練習メニューの幅を広げ、地味な練習でも手を抜かず、努力し続けました。このような生活をする中で、地区中体連で優勝することで感謝の気持ちを形にする一番の機会になるとチームで話すようになりました。

そして、地区中体連当日。団体戦の決勝で、私が勝てば優勝が決まるというプレッシャーのかかる場面に立ちました。強い緊張と不安がありましたが、ベンチや応援席から仲間の声が聞こえ、その一言一言が私の背中を押してくれました。仲間の応援があったからこそ、最後まで自分を信じて戦い抜き、勝つことができたのだと思います。一緒に戦う仲間と声を掛け合い、監督や先生、家族の応援を受けて優勝することができたあの瞬間は忘れられない思い出になりました。県中体連では、ベスト8という結果に終わってしまいましたが、それでも仲間とともに練習を重ね、辛いときには声を掛け合い、支え合いながらここまでやってこれたことを心から嬉しく思います。

卓球と出会ったことで、多くのことに目を向け、キャプテンや中体連の選手宣誓などの役割を担い、多くの貴重な経験を通じて大きく成長することができました。ここまで成長できたのは、これまで一緒にプレーした仲間や指導してくださった先生方はもちろんですが、家族の支えがあったからこそだと思います。仲間と努力することや、感謝の気持ちを大切にすることを忘れずに部活動で学んだことをこれから先の高校生活や将来に生かしていきたいと思います。3年間ありがとうございました。

## ■ 音楽科 民謡の授業 S.K さん

2月26日(木)の午後、1年生を対象に、音楽科の民謡の授業が行われました。講師の先生は、1年1組のS.Kさんで、三味線の演奏と歌声を披露してくれました。民謡を生で聞く機会は滅多にないことなので、子どもたちは、食い入るように鑑賞していました。Kさんは、いろいろなところで歌声を披露しているようで、堂々とした立ち居振る舞いから、いつも見ているKさんとは違った一面を見ることができました。

